

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
延岡市	水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
●							

抜本的な改革の取組状況

取組事項		事業廃止															
実施済	●	(取組の概要) ・平成28年度より、簡易水道事業を上水道事業へ統一。 ・統合に伴い計画給水人口を113,180人→120,900人、1日最大計画配水量を58,650m³→55,900m³に変更。 (取組の効果額) 10.2 百万円(年)	(全部と一部の別) <table border="1"> <thead> <tr> <th>全部廃止</th> <th>一部廃止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ①診療所化・介護施設化 ②簡易水道事業の飲料水供給施設化 ③事業目的の完了 ④民営化・民間譲渡による廃止 ⑤広域化による廃止 ● ⑥その他 (取組の効果額内訳) ・効果額 10.2百万円(年) ・内 訳 人件費 年▲10.2	全部廃止	一部廃止	●		(実施(予定)時期) <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </tbody> </table>	平成			28	4	1	年	月	日
全部廃止	一部廃止																
●																	
平成																	
28	4	1															
年	月	日															
実施予定																	
検討中		(取組の概要)	(検討状況・課題)														

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
延岡市	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組						現行の経営 体制を継続	
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託		PPP/PFI方式 の活用
			●		●	●	

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等				
実施済	(実施類型)	汚水処理施設の 統合		(取組の概要)		
	●		汚水処理方法の見直しに伴い、「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル/平成26年1月国土交通省・農林水産省・環境省」に示されている手法により、集合処理の場合と個別処理の場合を比較検討し、集合処理が経済的に有利となる地区については、公共下水道への接続を予定している。			
実施予定	●	処理場廃止あり	処理場廃止なし			
	●					
検討中	●	公共下水・流域下水の統合	公共下水同士 の統合	集落排水・公共下水との統合	特選下水と公共下水との統合	その他
	●			●		
検討中	●	汚泥処理の 共同化	維持管理・事務 の共同化	最適な汚水処理施設 の選択(最適化)		
	●					
検討中	●	(取組の効果額)	(取組の効果額内訳)			
	●	2.1 百万円(年)	維持管理費 年▲2.1百万			
検討中	●	(取組の概要)	(検討状況・課題)			
	●					

取組事項		民間活用(包括的民間委託)	
実施済	●	(取組の概要)	(実施済のみ)性能発注内容
●		下水道処理場、その他下水処理施設(雨水処理施設を含む)の維持管理業務委託を実施。開発技術導入による放流水質の向上・省エネ化が図られている。	運転管理、ユーティリティ管理及び一定金額以下の修繕、放流水質における要求水準及びBOD等の目標達成率を設定(定めたレベルを上回った場合、委託料を増額)
実施予定		(取組の効果額)	(取組の効果額内訳)
		22.5 百万円(年)	①人件費 年▲43.2百万 ②委託による経費 年 20.7百万 計 年▲22.5百万
検討中	●	(取組の概要)	(検討状況・課題)
●			

取組事項		民間活用(PPP/PFI方式の活用)	
実施済		(取組の概要)	(方式)
			BTO方式 BOT方式 BOO方式 DB方式 DBO方式
実施予定			公共施設等運営権方式(コンセッション方式) 環境整備会社制度 その他
検討中	●	(取組の効果額)	(導入・契約(予定)時期)
●		百万円(年)	年 月 日
検討中	●	(取組の概要)	(検討状況・課題)
	●	令和5年6月に「社会資本整備総合交付金交付要綱交付対象事業の要件」が改定され、令和9年度以降における管路の改築・更新に係る補助要件として下水道版PPP/PFI方式である「ウォーター-PPP」の導入決定が補助要件化されたことを受け、導入に向けた準備として今年度「導入可能性調査」を実施する。	PPP/PFI方式の導入に際し、公共下水道と併せ農漁集落排水、市管理型浄化槽、上水道などの他分野とも連携した取り組みについて検討を行うため、有識者等による検討会を開催予定である。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
延岡市	下水道事業	特定環境保全公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組						現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用		
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	
			●		●	●

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等				
実施済	●	(実施類型) 汚水処理施設の 統合 ● 処理場廃止あり 処理場廃止なし ●	(取組の概要) 汚水処理方法の見直しに伴い、「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル/平成26年1月国土交通省・農林水産省・環境省」に示されている手法により、集合処理の場合と個別処理の場合を比較検討し、集合処理が経済的に有利となる地区については、公共下水道への接続を予定している。			(実施(予定)時期) 令和 7 年 月 日
実施予定	●	公共下水・流域下水の統合 公共下水同士 の統合 集落排水・公共下水との統合 特選下水と公共下水との統合 その他				
検討中	●	(取組の概要) 汚泥処理の共同化 維持管理・事務の共同化 最適な汚水処理施設の選択(最適化)	(取組の効果額) 2.1 百万円(年)			(取組の効果額内訳) 維持管理費 年▲2.1百万
		(取組の概要)	(検討状況・課題)			

取組事項		民間活用(包括的民間委託)		
実施済	●	(取組の概要) 下水道処理場、その他下水処理施設(雨水処理施設を含む)の維持管理業務委託を実施。開発技術導入による放流水質の向上・省エネ化が図られている。	(実施済のみ)性能発注内容 運転管理、ユーティリティ管理及び一定金額以下の修繕。放流水質における要求水準及びBOD等の目標達成率を設定(定めたレベルを上回った場合、委託料を増額)	(実施(予定)時期) 平成 21 年 4 月 1 日
実施予定		(取組の効果額) 22.5 百万円(年)	(取組の効果額内訳) ①人件費 年▲43.2百万 ②委託による経費 年 20.7百万 計 年▲22.5百万	
検討中	●	(取組の概要)	(検討状況・課題)	

取組事項		民間活用(PPP/PFI方式の活用)		
実施済		(取組の概要)	(方式) BTO方式 BOT方式 BOO方式 DB方式 DBO方式 公共施設等運営権方式(コンセッション方式) 環境整備会社制度 その他	(導入・契約(予定)時期) 年 月 日
実施予定		(取組の効果額) 百万円(年)	(取組の効果額内訳)	
検討中	●	(取組の概要) 令和5年6月に「社会資本整備総合交付金交付要綱交付対象事業の要件」が改定され、令和9年度以降における管路の改築・更新に係る補助要件として下水道版PPP/PFI方式である「ウォーター-PPP」の導入決定が補助要件化されたことを受け、導入に向けた準備として今年度「導入可能性調査」を実施する。	(検討状況・課題) PPP/PFI方式の導入に際し、公共下水道と併せ農漁集落排水、市管理型浄化槽、上水道などの他分野とも連携した取り組みについて検討を行うため、有識者等による検討会を開催予定である。	

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
延岡市	下水道事業	農業集落排水施設	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
			●				

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等								
実施済	(実施類型)	汚水処理施設の統廃合 ● 処理場廃止あり ● 処理場廃止なし					(取組の概要) 汚水処理方法の見直しに伴い、「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル/平成26年1月国土交通省、農林水産省、環境省」に示されている手法により、集合処理の場合と個別処理の場合を比較検討し、集合処理が経済的に有利となる地区については、公共下水道への接続を予定している。	(実施(予定)時期) 令和 7 年 月 日		
	公共下水・流域下水の統合	公共下水同士の統合	集落排水・公共下水との統合	特環下水と公共下水との統合	その他					
			●							
実施予定	汚泥処理の共同化	維持管理・事務の共同化	最適な汚水処理施設の選択(最適化)			(取組の効果額) 2.1 百万円(年)	(取組の効果額内訳) 維持管理費 年▲2.1百万			
検討中	(取組の概要)						(検討状況・課題)			

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
延岡市	下水道事業	漁業集落排水施設	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
			●				

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等				
実施済		(実施類型)		(取組の概要)		(実施(予定)時期)
		汚水処理施設の統廃合				年 月 日
		処理場廃止あり 処理場廃止なし				
実施予定				公共下水・流域下水の統合 公共下水同士の統合 集落排水・公共下水との統合 特環下水と公共下水との統合 その他		
検討中	●	(取組の効果額)		(取組の効果額内訳)		(検討状況・課題) 複数の広域化・共同化のメニューから実施するメニューを絞り込むことが非常に難しい。
		百万円(年)				
		(取組の概要)				
		各施設の老朽化及び更新に今後多大な費用が必要となることから、汚水処理施設の統廃合を検討している。				

公営企業の抜本的な改革の取組状況（令和6年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
延岡市	下水道事業	特定地域排水処理施設	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

本市においては、農業集落排水事業周辺において、公用水域の水質保全と、農業生活環境の改善及び、生産性の高い農業と活力ある農村の形成を目的に、市設置型浄化槽を84基整備しており、設置については受益者より負担金を徴収し、設置後は利用者より使用料を徴収し維持管理を行っていることから、現手法を継続していく。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
延岡市	と畜場事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
●							

抜本的な改革の取組状況

取組事項		事業廃止																	
実施済	●	(取組の概要) 本市のと畜場については、設備の一部が老朽化していたことから、豚及びめん羊・山羊のと畜業務を取り止めたことで、豚等の処理ラインの整備に係る費用が不要となり、また、牛処理ラインの改善を図るうえで、旧豚処理スペースを有効利用することができた。 (取組の効果額) 506 百万円(年)	(全部と一部の別) <table border="1"> <thead> <tr> <th>全部廃止</th> <th>一部廃止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> ①診療所化・介護施設化 ②簡易水道事業の飲料水供給施設化 ③事業目的の完了 ④民営化・民間譲渡による廃止 ⑤広域化による廃止 ● ⑥その他 (取組の効果額内訳) 老朽化した小動物係留・解体・懸肉設備(豚、羊またはめん羊を処理する施設)を使用可能な状態に再整備した場合の費用(試算) <table border="1"> <tbody> <tr> <td>・小動物係留場機械設備</td> <td>1式</td> <td>▲102百万円</td> </tr> <tr> <td>・小動物解体室機械設備</td> <td>1式</td> <td>▲299百万円</td> </tr> <tr> <td>・小動物懸肉・冷却室機械設備</td> <td>1式</td> <td>▲105百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>▲506百万円</td> </tr> </tbody> </table>	全部廃止	一部廃止		●	・小動物係留場機械設備	1式	▲102百万円	・小動物解体室機械設備	1式	▲299百万円	・小動物懸肉・冷却室機械設備	1式	▲105百万円	合計		▲506百万円
全部廃止	一部廃止																		
	●																		
・小動物係留場機械設備	1式	▲102百万円																	
・小動物解体室機械設備	1式	▲299百万円																	
・小動物懸肉・冷却室機械設備	1式	▲105百万円																	
合計		▲506百万円																	
実施予定			(実施(予定)時期) <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </tbody> </table>	令和			2	4	1	年	月	日							
令和																			
2	4	1																	
年	月	日																	
検討中		(取組の概要)	(検討状況・課題)																